

講義科目名称：国際関係論

授業コード：

英文科目名称：International Relations Theories

| | | | |
|-------|-----|-----|--------|
| 開講期間 | 配当年 | 単位数 | 科目必選区分 |
| 前期 | 1・2 | 2 | 選択 |
| 担当教員 | | | |
| 天野 修司 | | | |
| O | 火 2 | | |

| | |
|----------------------|---|
| 授業概要 | シリアでの内戦や中国の海洋進出など国際情勢は緊迫の度合いを増している。なぜ、国際社会において争いや摩擦が、繰り返し起きるのであるのか。そのメカニズムを科学的な分析に基づいて解明するのが、国際関係論である。本講義では、その基礎知識を習得するとともに、国際情勢を正確に把握するための「思考力」を鍛える。 |
| 授業計画 | <p>第1回 インTRODクシヨン 国際関係論の全体像と現代的な意義を考察する</p> <p>第2回 国際関係論の萌芽 国際関係論の思想的起源を理解する</p> <p>第3回 繰り返し起きる戦争 戦争が、同じようなパターンで起きていることを理解する</p> <p>第4回 2つの世界大戦 2つの世界大戦を経て、国際関係論が体系化されたプロセスを理解する</p> <p>第5回 中間レポート 中間レポートの作成を通じて、戦争が起きるメカニズムを理解する</p> <p>第6回 中間レポート 中間レポートの作成を通じて、戦争が起きるメカニズムを理解する</p> <p>第7回 バランス・オブ・パワー理論 バランス・オブ・パワー理論の妥当性について考察する</p> <p>第8回 核抑止の理論 核抑止の理論の妥当性について考察する</p> <p>第9回 デモクラティック・ピース理論 デモクラティック・ピース理論の妥当性について考察する</p> <p>第10回 国際レジーム論 国際レジーム論の妥当性について考察する</p> <p>第11回 ゲーム理論 ゲーム理論の妥当性について考察する</p> <p>第12回 実践演習 実践演習を通じて、世界の今を正しく理解する</p> <p>第13回 ポスト・コロナの世界 国際関係論を用いて、ポスト・コロナの世界を分析する</p> <p>第14回 最終レポート 最終レポートの作成を通じて、国際関係論の妥当性について考察する</p> <p>第15回 最終レポート 最終レポートの作成を通じて、国際関係論の妥当性について考察する</p> |
| 事前学習課題 | 新聞やテレビ、ネットなどで、世界のニュースを確認し、授業の内容との関連性について考える習慣を身につける。 |
| 成績評価の方法・基準 | 毎回のレポート課題（60%）、中間レポート課題（20%）、最終レポート課題（20%）で評価する。 |
| 教科書・参考図書 | 教科書「国際政治学の理論：世界の今を正しく理解し、未来を予測する（はるかぜ書房）」 |
| 教員からのメッセージ | 本講義では、複雑な理論を多く学ぶため、毎回、意欲を持って授業に参加することが基本となる。グローバルな課題についての理解を深め、国際的な感性を持った医療人になろう。 |
| オフィスアワー | 火 3・4限 |
| 実務経験の内容及び経験に関連する授業内容 | |
| ISBN | 978-4990850869 |
| その他 | |
| | |